

令和4年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立城南中学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、生徒の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校生徒の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

■ 調査期日

令和4年4月19日(火)

■ 調査の対象学年

中学校3年生生徒

■ 調査の内容

(1) 教科に関する調査(国語、数学、理科)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定の割合で導入する。

(2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

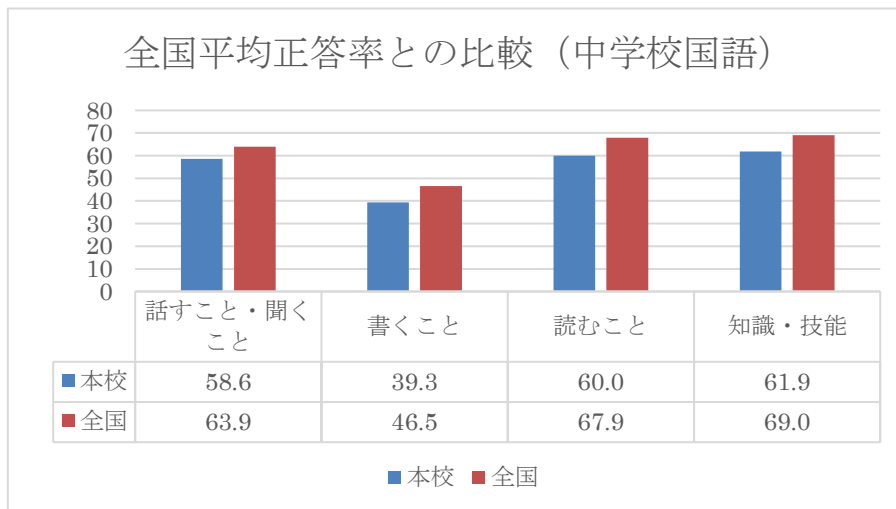
生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査 (例)国語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例)授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況など

■ 調査結果及び考察について

全国学力学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の部分」であり「学校教育活動の側面」であることをご了解の上、ご覧ください。

■ 調査結果及び考察

1 国語



(1) 結果

全国平均を下回る結果でした。「話すこと・聞くこと」は 5.3 ポイント、「読むこと」は 7.9 ポイント下回っています。また、「書く」「書き加える」問題での無回答率が高くなっています。

(2) 成果と課題

今回の調査では、すべての内容領域が全国平均を下回りましたが、その中で「話すこと・聞くこと」は、他の領域と比べ全国平均に近いと言えます。授業での『学び合い』を通し、「話すこと・聞くこと」が意識してなされている成果が表れていると考えられます。課題は、「思考・判断・表現」の「書くこと」（-7.2 ポイント）、「読むこと」（-7.9 ポイント）の正答率を上げることです。また、「記述式」の無回答率（-6.2 ポイント）を下げることです。記述式になると無回答率が高くなる傾向にあります。生徒に「読むこと」の力をつけるとともに、「書くこと」を通して表現する力を日々の授業で付けていくことが重要であると考えています。

(3) 学力向上のための取り組み

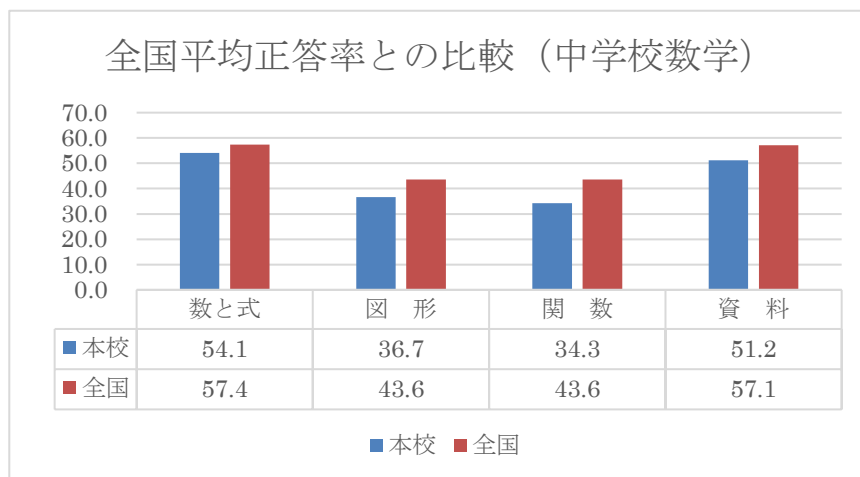
【学校では】

- 生徒が『学び合い』を通して、主体的・対話的で深い学びができるように工夫し、単元の前後に見通しと振り返りをします。
- 学習課題に沿って文章を適切に読み取れるように、発問、ノート、ワークシートなどを工夫します。
- 授業の中で目的や条件に沿って書く場面を作ります。自分の考えや根拠を明確にして書く機会を増やします。
- 漢字の読み書き、慣用句や四字熟語などの語句の学習を積み重ね、語彙力を付けます。

【ご家庭では】

- 文章をたくさん読むことを大切にしてほしいと思います。教科書の文章だけでなく、読書や新聞など様々な文章を読んでほしいと思います。文章を読み、要点や意図を捉えることは、国語科だけでなく、すべての教科の学力向上に不可欠です。
- 漢字練習の課題を根気よく丁寧にしてほしいと思います。漢字仮名交じり文の日本語を、確実に読み取るためには漢字の習得が欠かせません。読み仮名や意味も確認しながら、繰り返し書いて覚えることが大切です。
- 自分の考えや意見を単語的な言葉ではなく、文章で相手に分かりやすく伝えるよう心がけてほしいと思います。

2 数学



(1) 結果

正答率で全国平均を下回っています。また、すべての領域で全国平均正答率を下回っています。無解答率を見ると、ほぼすべての問題で全国平均より高くなっています。

(2) 成果と課題

今回の調査では、「数と式」の領域の素因数分解する問題の正答率が全国平均正答率を9.2ポイント上回っていました。それ以外の問題の正答率は全国平均正答率を下回っていました。連立方程式や確率の基本的な問題は、他の問題に比べて正答率が高くなっていますが、文字式や資料の活用の単元において、資料や文章を正しく読み取り数学的な見方や考え方をを使って説明をする問題に課題が見られました。

日々の授業で、問題文を正しく読み取り、数学的用語の意味を正確に捉え、その用語を活用して説明する取り組みが重要であると考えています。

(3) 学力向上のための取り組み

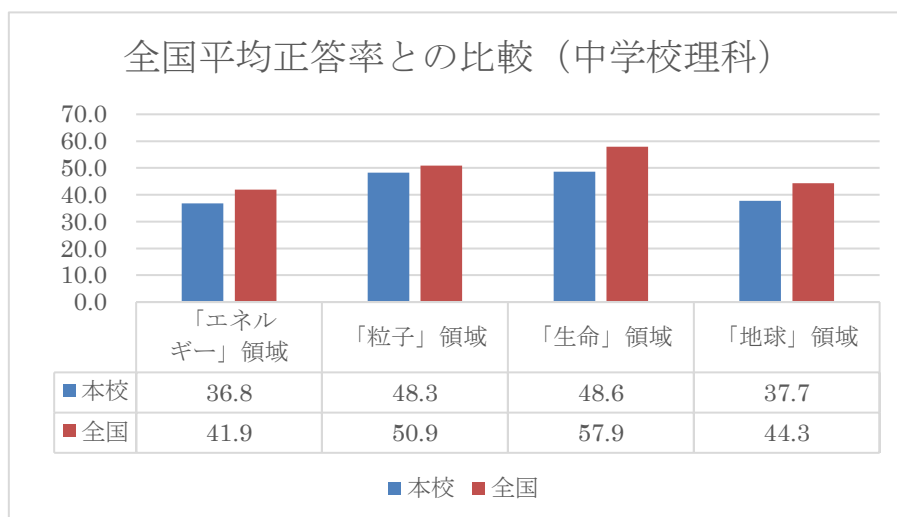
【学校では】

- 様々な見方や考え方ができるように、『学び合い』活動を取り入れていきます。また、自分の考えを、式や言葉を使って、論理的に書く機会を増やし、記述力の向上に努めます。
- 「数と式」は、定期的な小テスト、すくすくテストの実施によって計算が確実にできるようにします。
- 「図形」「資料の活用」は、定期的に復習問題に取り組みせ、既習事項を想起させながら考えさせます。

【ご家庭では】

- 授業で取り扱った内容を、再度、家庭で取り組んでほしいと思います。学習内容を早いうちに振り返ることで知識や技能の定着が高まることが期待されます。ぜひ励ましの言葉かけをお願いします。
- 日常生活の場面で、数学的な課題を見つけ、楽しみをもって考えてみてほしいと思います。（様々な建造物や物体から形の名称・面積・体積、時刻表から電車の平均の速さなど、物事を数字を使って論理的に説明する。）

3 理科



(1) 結果

正答率は、全国平均を下回る結果でした。全ての領域で全国平均を下回っていました。「生命」については、9.3ポイント下回っていました。また、無回答率も全国平均に比べて高くなっていました。

(2) 成果と課題

ほぼすべての問題で、全校平均を下回る結果でした。特に、思考・判断・表現を問う「記述式」の問題での正答率が低くなっていました。日々の授業の『学び合い』の中で、説明する活動など思考力の向上を図るための活動を取り入れ、記述した内容を確認させることが重要であると考えています。

また、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図ることに課題があります。定期的に確認テストを行うなど知識の定着のための時間をとるなどの対策を行っていきます。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 目的意識をもった実験・結果を行うための基礎的・基本的な知識・技能の定着を図っていきます。
- 『学び合い』の授業のなかで、実験結果に対する考察を、理論的に記述したり、説明したりする機会を増やし、思考力・判断力・表現力の向上に努めていきます。

【ご家庭では】

- 夜空を見上げて、星の話をしたり、坂道で自転車が加速する理由を考えたり、日常生活での現象と学習した内容を結び付けて考える機会をもうけてみると、より理解が深まると思います。
- 宿題プリントやテストをご覧になって、励ましや称賛（承認）の言葉かけをお願いします。
- ご家庭で、物事を論理的に説明したり、表現したりする機会をつくってみてはいかがでしょうか。

4 生活習慣や学習習慣に関する調査

(1) 結果

《生活習慣・挑戦心・規範意識について》

調査項目	本校 %	全国平均 %
朝食を毎日食べていますか。	84.3%	79.9%
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。	42.4%	37.0%
毎日同じくらいの時刻に起きていますか。	64.0%	56.8%
自分にはよいところがあると思いますか。	33.8%	36.0%
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。	30.2%	21.4%
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	76.3%	73.5%
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	86.3%	82.6%

朝食・起床・就寝については全国平均を上回っています。「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムができていることはとても良いことです。自己肯定感情の向上を図るためにも、家庭や学校で生徒の努力を認め、何事にも全力をつくす生徒の育成を図ることが必要です。

挑戦心や規範意識の項目については、肯定的な回答をした児童は全国平均よりも高い結果が出ています。

《家庭学習の様子》

調査の項目	本校%	全国平均 %
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	18.7%	15.4%
学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強していますか。「3時間以上」	9.4%	9.9%
「2時間以上、3時間より少ない」	27.3%	25.3%
「1時間以上、2時間より少ない」	25.9%	34.3%
「30分以上、1時間より少ない」	20.1%	17.0%
「30分より少ない」	8.6%	8.5%
「全くしない」	8.6%	4.9%

家庭学習については全国平均とほぼ同等でしたが、学習時間が2時間から3時間以上の生徒がおおくありました。一方で、1時間以下の学習に留まっている割合が高くなっています。家庭学習の時間をきちんととることは難しいかもしれませんが、習慣化を図る工夫をしてほしいと思います。かなり個人差が見られるので、家庭学習の意味を保護者や生徒に伝えて家庭学習の質の向上に向けて指導をしていきます。また、自分の目標に向かって、計画を立てて家庭学習を行う習慣についても指導していきます。

(2) 改善に向けての取り組み

【学校では】

- 学校からは、学年に応じた宿題を出しています。自主学習（自学ノート）についても全学年で取り組み、内容の充実を図るための手立てをとっています。
- 始業前の朝の読書の推奨をしたり、「すくすくテスト」を実施したりなど基礎学力の定着を目指した取り組みを行っています。

【ご家庭では】

- 基本的な生活習慣が身についています。ご家庭でのご指導のおかげだと思います。規則正しい生活と家庭学習の習慣を定着させることは、極めて大切なことです。
- 家庭学習の時間をきちんと取ることは難しいと思いますが、目標をもって生活ができるように励ましのお声かけなど今後もお願いします。